



## ご連絡先一覧

### ガス漏れなど緊急時のご連絡先 .....

- ガス臭いと感じたら、すぐに下記一般ガス導管事業者へご連絡ください！  
**ガス漏れ通報専用電話 受付時間：24時間(ガス漏れ通報専用・無休)**

東京ガス 緊急保安受付窓口 (ナビダイヤル)※必ず「0」からダイヤルしてください。 <b>0570-002299</b>	ナビダイヤルをご使用になれない場合 (IP電話・海外からのご利用など) <b>03-6735-8899</b>
--	---

### ガス漏れ以外のご連絡先 .....

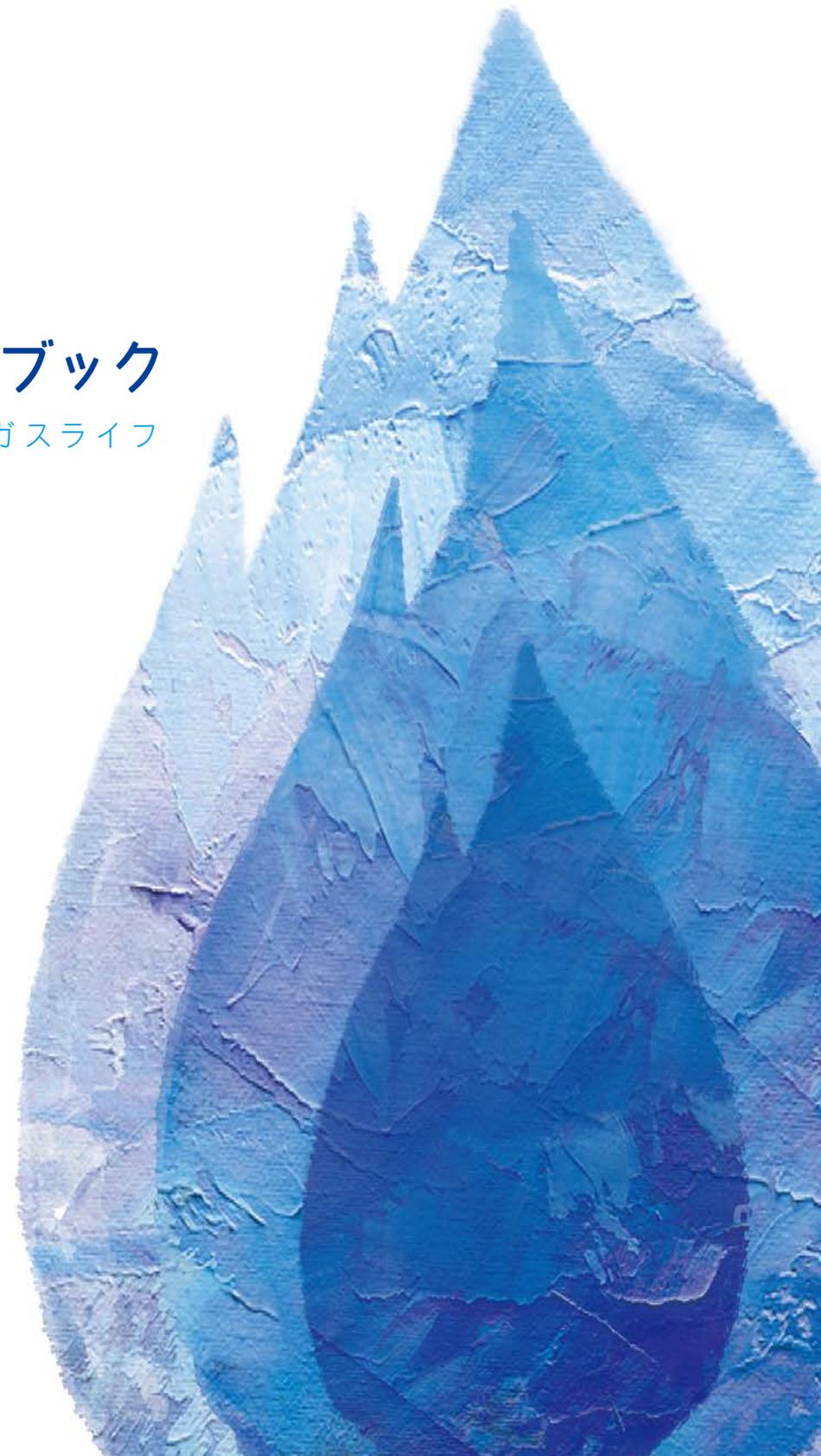
- ガス漏れ以外の導管に関するお問い合わせ先(内管工事等)

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～19:00 日曜日・祝日 9:00～17:00	東京ガスお客さまセンター(総合) ナビダイヤルをご使用になれない場合 (ナビダイヤル) (IP電話・海外からのご利用など) ※必ず「0」からダイヤルしてください。
<b>0570-002211 03-3344-9100</b>	
・上記以外の時間帯は、ガス臭い、ガスが出ないなどの安全に関わる緊急のご用件のみを承っております。ご理解とご協力をお願いいたします。 ・次の時間帯・曜日・時期は混雑が予想されます。9:00～10:00・日曜日・祝日・引越シーズンとなる3月中旬～4月上旬	

## ガスハンドブック

正しく使って安心ガスライフ

保存版



### 1. ガスの安全な使い方について……………03

- ・“換気”を忘れずに。ガスを使う際の基本
- ・とても危険な一酸化炭素中毒を知ろう!
- ・ガス・CO警報器
- ・換気扇を回すか、窓を開けてしっかり換気
- ・調理中はガス機器から目を離さない
- ・ガス機器のまわりに燃えやすいものを置かない
- ・お風呂の空だし注意。沸かす前には水栓確認を忘れずに
- ・小型湯沸器は、お風呂・洗濯機へのお湯はり、シャワーや洗髪には使わない
- ・油分の付いた衣類を乾燥させない
- ・暖房中も、“ときどき換気”を忘れずに
- ・暖房器具は十分な距離をとって使う
- ・小型湯沸器をお使いのときは必ず換気! 換気扇を回すか、窓を開けてしっかり換気してください
- ・小型湯沸器の禁止事項。絶対にやめてください!

### 2. ガス機器の点検について……………08

- ・ガス機器は定期的にお手入れを

### 3. ガス機器の設置について……………10

- ・ガス機器を買う前にガスの種類を確認
- ・ガス機器の設置は販売店へ相談
- ・ガス機器を接続するときは“形”と“大きさ”を確認
- ・より安全性の高い機器へのお取り替えをおすすめします
- ・古くなったガス管は必ず交換

### 4. もしもの時の対応について……………14

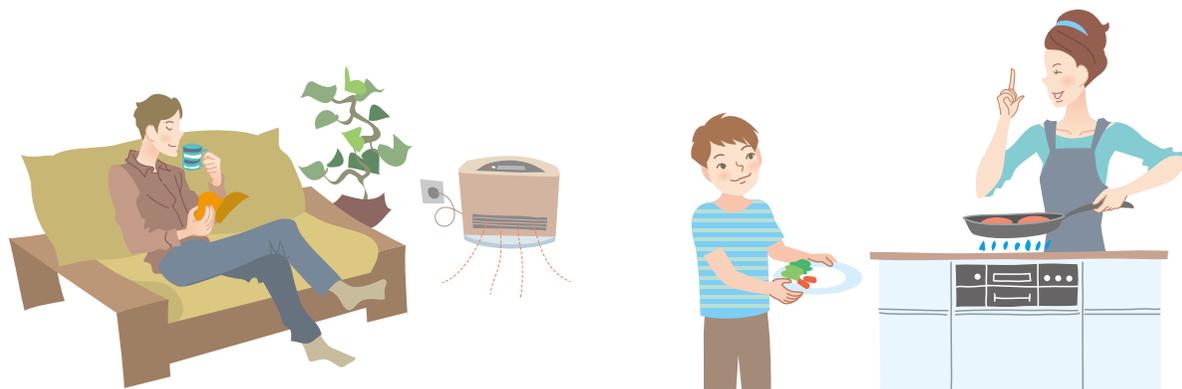
- ・地震のときは、身の安全を最優先に
- ・地震のあと、ガスをふたたび使うときは
- ・ガスが出ないときは、ガスメーターを確認
- ・ガス臭い場合はすぐに連絡!

### 5. 古いガス機器をお使いのお客さまへ……………17

- ◎ 不完全燃焼防止装置のない小型湯沸器
- ◎ 不完全燃焼防止装置のない浴室に設置されている煙突式風呂がま
- ◎ 不完全燃焼防止装置のない煙突式風呂がま・湯沸器
- ◎ 不完全燃焼防止装置のない排気ファンがついている煙突式風呂がま・湯沸器
- ◎ 金網ストープ

### 6. 業務用にガスをお使いのお客さまへ……………21

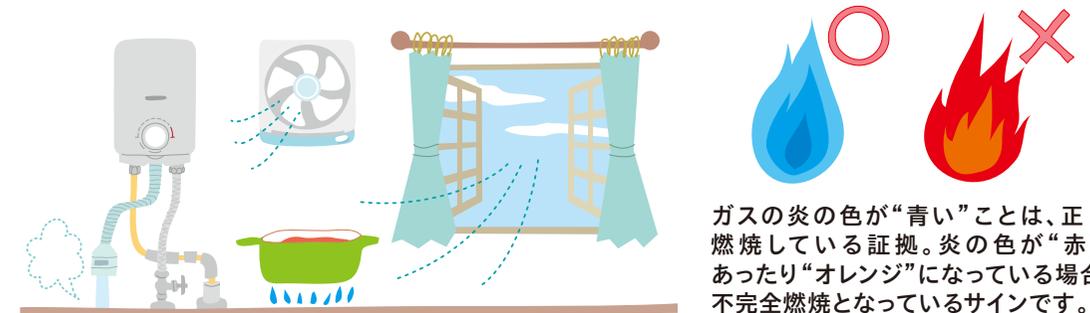
### 7. よくあるご質問……………23



## ガスを正しく使って、安全で快適な暮らしを!

### “換気”を忘れずに。ガスを使う際の基本

ガスの炎に限らず、火が燃えるためには新鮮な空気(酸素)が必要です。普段の環境でガスを燃やすと、生活に必要な“熱”が発生すると共に、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が発生します。二酸化炭素は、炭酸飲料の成分でもあり、人の吐く息にも含まれているものですので、基本的には問題のないものです。ところが、閉めきった室内で火を使い酸素が不足してくると、不完全な燃焼により二酸化炭素が作られず、人体に有害な一酸化炭素(CO)が多く発生する可能性があります。これを防ぎ、安全に火を使うために必要なことが“換気”です。排気を含んだ室内の空気を外気と入れ替えて、燃焼に必要な酸素を取り入れることが大切です。



ガスの炎の色が“青い”ことは、正しく燃焼している証拠。炎の色が“赤”であったり“オレンジ”になっている場合は、不完全燃焼となっているサインです。

### とても危険な一酸化炭素中毒を知ろう!

万一多くの一酸化炭素が発生し、それを体内に取り入れてしまうと一酸化炭素中毒になるおそれがあり、大変危険です。一酸化炭素とは一体どのようなものか、知っておくことも大切です。

- 一酸化炭素は、無色・無臭。気づきにくいですが、毒性は強力で、少量の吸引でも危険です。
- 軽い中毒症状は頭痛・吐き気など、風邪に似ていますが、手足がしびれて動けなくなることがあります。
- 重症になると、脳細胞を破壊したり、意識不明になったり、死にいたることもあります。

空気中の一酸化炭素濃度(CO(%))と吸引時間による中毒症状	
CO(%)	呼吸時間による中毒症状
0.04	1~2時間で前頭痛や吐き気、2.5時間~3時間で後頭痛
0.16	20分で頭痛・めまい・吐き気、2時間で死亡
0.32	5~10分で頭痛・めまい、30分で死亡
1.28	1~3分で死亡

### ガス・CO警報器

万一ガス漏れや不完全燃焼による一酸化炭素が発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。24時間ガス漏れやCO発生を監視する暮らしの見張り番です。また、火災が発生したときに、お知らせする機能のついた警報器もあります。



有効期限が過ぎる前に、お取り替えが必要です。ガスの種類によってはガス警報器とCO警報器をそれぞれ設置する必要があります。  
※自動ガス遮断装置およびガス漏れ警報設備を設置されているお客さまは定期的な点検を行ってください。

### 異常に気がいたらすぐに連絡。

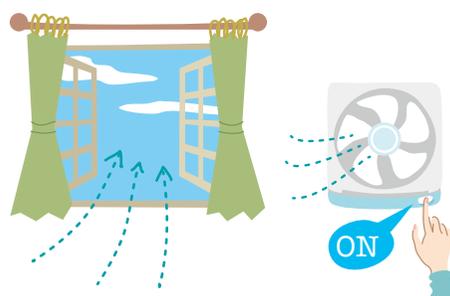
ガス臭い、警報器が作動したなど何か気がかりなことがある場合は、一般ガス導管事業者に連絡しましょう。一般ガス導管事業者は24時間・365日の保安体制で緊急時に備えています。

不完全燃焼は換気が不十分である場合のほか、誤った方法でガスを利用した場合などにも発生します。本書では皆さまがガスをお使いになる場面での、正しく使用するポイントをまとめています。ぜひ、ご確認ください。

ガスを使うときにどんな事に気をつければいいの？



## 換気扇を回すか、窓を開けてしっかり換気



換気しない場合、燃焼に必要な空気(酸素)が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 小型湯沸器は安全装置が付いていても必ず換気をしましょう。
- コンロや小型湯沸器が使用中に止まったら、再点火を繰り返さずガス機器購入店やメーカーへ点検を依頼してください。
- 換気扇が汚れていると換気能力が低下します。定期的に点検・清掃してください。

## 調理中はガス機器から目を離さない



揚げものをしているときやグリルを使用しているときにその場を離れると、過熱に気づかず火災の原因になるおそれがあります。

ポイント

- 安全装置が付いていても、自分の目で確認することが大切です。
- 揚げもの調理は、天ぷら油過熱防止装置(センサー)の付いている方で行ってください。
- コンロの火が着衣に着火しないようご注意ください。
- メーカー純正品以外の部品(ガスコンロ用省エネリングなど)の使用は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こす原因となる場合がありますので、注意しましょう。

## ガス機器のまわりに燃えやすいものを置かない



機器側方や上方にはタオル掛けなどは設置しないでください。



キッチンペーパーやタオルなどをガス機器のまわりに置かないようにしましょう。機器側方や上方には タオル掛けなどは設置しないでください。炎や排気の熱で発火し、火災の原因になるおそれがあります。

ポイント

- ガス機器は取扱説明書の記載に従い、周囲との離隔距離を正しくとってください。
- 屋外機器の排気口付近にも可燃物を置かないようにしてください。

うちのお風呂は大丈夫かな？



## お風呂の空だき注意。沸かす前には水栓確認を忘れずに

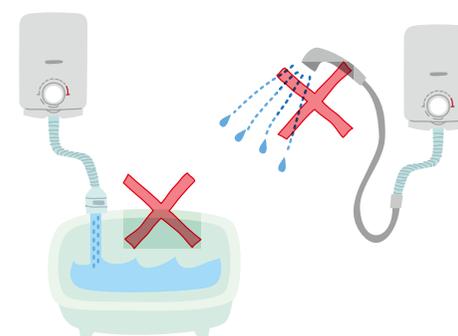


水量が足りないまま、湯沸しや追い焚きを行うと、過熱により風呂がまを傷めるだけでなく、火災の原因となるおそれがあります。点火しにくくなった場合は無理に点火せず、点検を依頼しましょう。未燃ガスに異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。

ポイント

- 点火がうまく行われないと、点火操作により放出される少量のガスが、一時的に機器内部にたまりやすくなります。
- そのまま繰り返し操作を行うと未燃ガスが徐々にたまるため、点火された際に異常着火し、衝撃で機器が変形するおそれがあります。
- 風呂がまが水につかると点火しにくくなる場合もありますので、お風呂の排水口は、こまめに掃除してください。

## 小型湯沸器は、お風呂・洗濯機へのお湯はり、シャワーや洗髪には使わない



小型湯沸器を長時間連続使用すると、換気が足りず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 小型湯沸器は燃焼に必要な空気を多く使います。長時間連続使用すると、換気を行っても燃焼に必要な空気が不足するおそれがありますので、絶対におやめください。

## 油分の付いた衣類を乾燥させない



油の酸化発熱により自然発火し、火災の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 油分の付着した衣類は、洗濯後でも油が完全に落ちていない場合があります。
- 衣類によっては乾燥機が使用できないものもあります。ご使用になれる前に衣類の「取り扱い絵表示ラベル」をご確認ください。

<油分の例>  
美容オイル、食用油、機械油、  
ドライクリーニング油、  
ベンジン、シンナー、  
ガソリン、セルロース系樹脂など

ふだん生活する場所では  
どんな事に気をつければいいの？



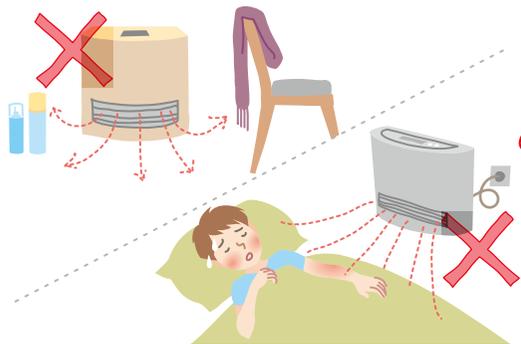
## 暖房中も、“ときどき換気”を忘れずに

1時間に1~2回程度、  
新鮮な空気に  
入れ替えましょう。



換気しない場合、燃焼に必要な空気(酸素)が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

## 暖房器具は十分な距離をとって使う



衣類などの燃えやすいものやスプレー缶を近くに置かないでください。温風を長時間直接体にあてないでください。燃えやすいものやスプレー缶が高温になり、発火・爆発するおそれがあります。また、温風を長時間直接体にあてると低温やけどになるおそれがあります。



●特に小さなお子さまなど、自分の意思で動けない方がいるご家庭では、長時間温風があたる場所で寝かせないように注意してください。

## 【キッチン、バスルーム、お部屋共通】ガス機器・給排気口の付近に窓がある場合

### ガス機器使用中は、窓を閉めましょう



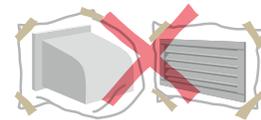
排気が室内に流入し、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。



●燃焼した排気を直接屋外へ排出するガス機器や、屋内機器の排気口付近にある建物開口部(窓、換気口など)から排気が室内に流入し、不快なおいがしたり気分が悪くなるおそれがあります。●設置状況によっては、ガス機器などの移設が必要な場合があります。

### 工事を行う場合は、機器の使用にご注意ください

ガス機器・給排気設備をビニールシートなどで覆った場合は、屋内ガス機器の排気口を増改築により屋外に設置されたガス機器や、屋内ガス機器の排気口を増改築により屋内化したり波板などで囲わないでください。



※増改築工事などで排気筒を取り外したり、塗装工事などで給排気設備を覆われることがあります。



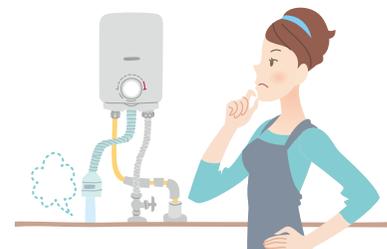
排気が屋外に排出されず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。



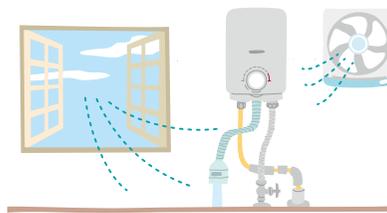
ガス機器が正常に着火しない場合、機器内部にたまった未燃ガスに異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。

## 我が家の小型湯沸器は 大丈夫かな？

小型湯沸器をお持ちの皆さまへのお願い



## 小型湯沸器をお使いのときは必ず換気！ 換気扇を回すか、窓を開けてしっかり換気してください



台所など屋内に取り付けられている小型湯沸器を十分な換気をせずにご使用になりますと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こすおそれがあり、死亡事故につながる可能性があります。ご使用になる場合は、換気扇やレンジフードのファンを回すか、窓を開けて換気をしてください。

## 火が消えたら、不完全燃焼かも。すぐにご連絡ください！

火が消えた………また火をつける………くり返し点火



換気が十分でも使用中に火が消える場合は、不完全燃焼しているおそれがあります。



使用中に火が消えた場合、再点火はくり返さないでください。

下記の現象の場合は、継続して使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。ただちに使用を中止してください。



- 使用中、火が消える場合(安全装置が作動している可能性があります)
- 前板の塗装がすすで黒く変色した場合
- その他、ご使用中に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱などがある場合

すぐに使用を中止して、ガス機器購入店、または一般ガス導管事業者にご連絡ください。



\*連絡先については裏表紙をご覧ください。

## 小型湯沸器の禁止事項。絶対にやめてください！

長時間使用は不完全燃焼の原因になります。

- お風呂への給湯
  - 洗濯機への給湯
  - シャワー・洗髪
- は絶対にやめてください！

# ガス機器の点検について

どんなふうにお手入れすればいいの？



## ガス機器は定期的にお手入れを

取扱説明書をよく読み、安全な使用や日常管理の方法を確認しましょう。ガス機器や給排気設備は、ときどき清掃、点検しましょう。

### 暖房機器



機器背面にあるエアフィルターを定期的にお掃除しましょう。

### テーブルコンロ



バーナーが目詰まりしないよう、ときどき器具ブラシなどでお掃除しましょう。

### 小型湯沸器



小型湯沸器の上部(防熱板の下)に汚れや詰まりがないかチェックしましょう。汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消えてしまう場合は、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申込みください(有料)。



ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。

### 排気筒(煙突)



排気筒(煙突)内に鳥が巣を作っていませんか？

排気筒(煙突)のはずれ、穴あき、詰まりはありませんか？

地震・台風・強風・大雨・大雪のあとは、排気筒(煙突)のはずれや、壊れないかどうか確認してください。

給気口がふさがっていませんか？



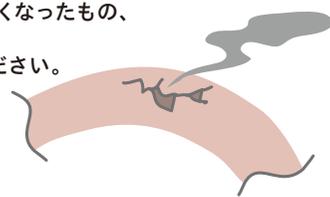
いずれも放置しておくと、ガス機器が正常に燃焼しない、あるいは排気が室内に流入するなどして、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

### ポイント

- 異常を見つけた場合は、ただちに使用を中止し、ガス機器購入店に点検・修理をお申込みください。
- 隠ぺい部に設置されている排気筒(煙突)も点検してください。腐食により穴が開いたりはずれたりすると、排気が室内に入り込み、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

## こんなところも要チェック

ひび割れや固くなったもの、古いゴム管はお取り替えてください。



使わないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。\*



\*ガス栓キャップは、お使いにならないガス栓の口部に傷や汚れがつくことを防止するためのものであり、ガスを止めるために設置するものではありません。お使いにならないガス栓は、誤って開けないように注意してください。

今一度ご確認ください。

「特定保守製品」をご購入されたお客さまは、「長期使用製品安全点検制度」の対象となります。

製品が古くなると部品などが劣化(経年劣化)し、火災や死亡事故を起こすおそれがあります。経済産業省の「長期使用製品安全点検制度」では、消費者自身による点検が難しく、経年劣化による重大事故のおそれが多い以下の製品を特定保守製品に指定しています。対象製品を購入した際は、所有者登録を行ってください。登録すると適切な時期にメーカーから点検通知が届きますので、点検を受けましょう。

### 対象商品 (特定保守製品)

※特定保守製品には、機器本体またはリモコンに「特定保守製品」と表示されています。

### 都市ガス・LPガス



●屋内式ガス瞬間湯沸器  
屋内に設置してあるガス瞬間湯沸器



●屋内式ガス風呂がま  
屋内に設置してあるガス風呂がま

### 石油

- 石油給湯器
- 石油風呂がま
- FF式石油温風暖房機

### 電気

- ビルトイン式電気食器洗浄機
- 浴室用電気乾燥機

### 購入から 点検までの流れ



販売者から点検制度についての説明を受けます。※工務店、不動産販売業者からの場合もあります。

所有者票を返送します。(所有者登録)

点検時期が来たら通知が届きますので、点検を依頼します。※点検には料金が掛かります。

点検を受けます。

●屋内に設置されているガス機器のほか、屋外に設置されている製品や平成21年4月1日より前に製造・輸入された対象製品についても、点検可能ですので、メーカーにお問い合わせください。(製品によっては、点検結果で整備が必要な場合に整備用部品がない場合があります)●賃貸住宅・アパートなどで製品を家主さまが設置・所有している場合には、家主さまが所有者登録・点検のお申込みをしてください。●所有者登録をいただいた情報は、点検通知、リコールなどの製品安全に関するお知らせに使用いたします。●点検時期の通知を受けるためには、所有者情報の正確な登録が必要です。登録が済んでいない場合や変更が必要な場合には早めにメーカーへお知らせください。●所有者登録にご不明な点がございましたら、特定製造事業者(メーカー)へお尋ねください。●ガス製品を安心して長くご使用いただくためにも、法定点検の他に定期的な点検をおすすめします。

### 特定製造事業者 連絡先

- (株)ガスター 点検センター .....0120-642-109
- (株)世田谷製作所 営業部管理課 .....03-3707-5531
- (株)タイハイ 点検受付窓口 .....0256-92-7788
- パーパス(株)点検受付センター .....0120-323-884
- (株)長府製作所 点検連絡窓口 .....0120-921-971
- (株)ノーリツ コンタクトセンター .....0120-911-026
- (株)ハーマン 点検受付センター .....0120-780-137

- (株)パロマ お客様センター .....0120-378-860
- モリタ工業(株)サービス課 .....0120-446-252
- リンナイ(株)製品点検センター .....0120-493-110
- 大阪ガス(株)お客さまセンター .....0120-0-94817
- 東京ガス(株)お客さまセンター .....03-3344-9199
- 東邦ガス(株)特定保守製品点検センター .....0120-872-909

上記以外のメーカーの場合：一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 .....03-3252-6101

本制度のお知らせは、[経済産業省ホームページ](http://www.meti.go.jp/product_safety)でご覧いただけます

[http://www.meti.go.jp/product\\_safety](http://www.meti.go.jp/product_safety)

もしくは [製品安全ガイド](#) [検索](#)

# ガス機器の設置について

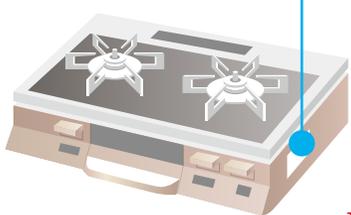
ガス機器はどうやって  
選べばいいの？



## ガス機器を買う前にガスの種類を確認

当社がお届けしているガスは、**都市ガス「13A」**です。  
ガスの種類にあったガス機器を購入し、使用してください。

AB120(a)1 ガス機器 ..... 型式  
都市ガス用 ○○○ ..... 適応するガスの種類  
○○○kW(○○○kcal/h) ..... ガス消費量  
2017040001 ..... 製造年月・製造番号  
○○○株式会社 ..... メーカー名



ガスの種類と合っていないと、正常な燃焼をせず、不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。

ポイント

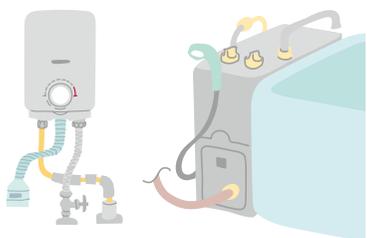
●ガス機器には、適応するガスの種類を示したラベルが貼られています。●新しくガス機器をお買い求めになるときのほか、**今までご使用になられていなかったガス機器をお使いになるときも**、ガスの種類と合っているか、必ず確認してください。●お引越しの際は、お引越し先のガスの種類を確認してください。(ガスの種類は、引越し先でご契約されたガス小売事業者から、通知されます)

現在当社がお客さまにお届けしているガスには一酸化炭素は含まれていません。

## ガス機器の設置は販売店へ相談

固定して使用するガス機器は、お客さまご自身で設置しないでください。

固定して使用する  
ガス機器の場合の一例



給湯器・風呂がまなど

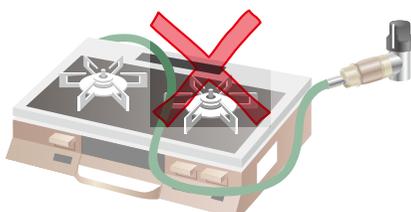


ガス機器が正しく設置されない場合、接続箇所からガスが漏れ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。また、燃焼した排気ガスが屋内に入り込み、一酸化炭素中毒となるおそれがあります。

ポイント

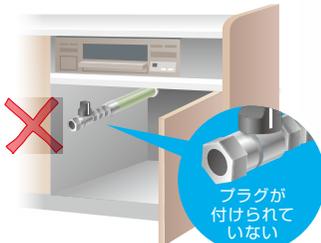
●固定して使用されるガス機器の設置には、安全性などの面から、最新の知識や専門的な設置技能が必要です。●特に屋内に風呂がまなど一部のガス機器を設置する場合は、法令により適正な給排気設備の設置が義務付けられており、工事を行う場合は国で定められた資格が必要です。対象となるガス機器または設置工事の方法は、ガス機器販売店にお問い合わせください。●圧縮ガス(酸素・空気など)を併用する特殊な機器をご使用になれる場合は、事前にガス小売事業者へ連絡してください。

接続具がコンロ下などの高温部に  
近づかないように接続します。



ゴム管は、適切な長さで使用してください。

不使用のネジガス栓には、  
必ずプラグを取り付けます。



プラグ

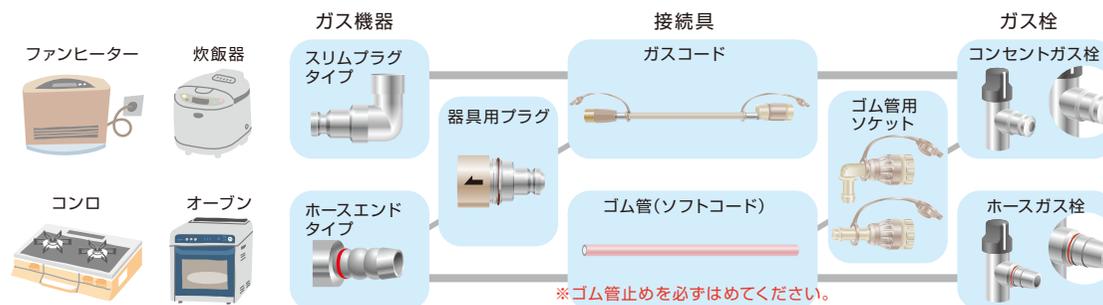
使われていないネジガス栓にはプラグを取り付けてください。  
※プラグが取り付けられていない場合はガス小売事業者にご連絡ください。

ガス機器はどうやって  
接続するの？



## ガス機器を接続するときは“形”と“大きさ”を確認

ガス機器・ガス栓の接続口には種類があります。  
接続器具をガス機器・ガス栓へつなぐときは 形状やサイズを確認し、それぞれに合ったものを使用してください。



形状やサイズがあっていないものを接続した場合、接続箇所からガスが漏れ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。

ポイント

●記載されているガス機器は一例です。ガス機器を購入される際に、接続口の形と大きさをご確認いただき、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、接続してください。  
●上記以外の接続方法については、ガス機器購入店へお問い合わせください。

## ガス栓への取り付け方

●コンセントガス栓

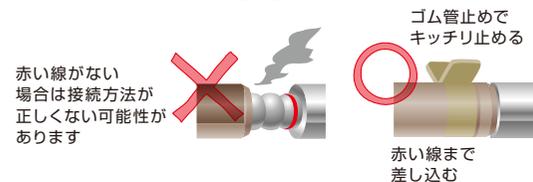
接続面にごみなどの異物がないことを確認して、確実に接続してください。

ソケットに無理な力がかからないよう適切な種類を選んでください。



●ホースガス栓

ゴム管は赤い線までキッチリ差し込んでください。



ガス機器とガス栓をつなぐ場合は、接続具を必ずガス機器側からつないでください。

## 誤った接続による事故が発生しています。

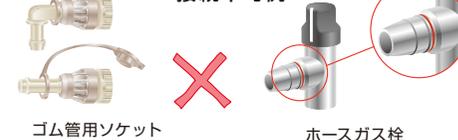
大きさ9.5mmのホースエンドタイプのテーブルコンロ接続口に、誤って大きさ13mmのゴム管を接続したためガス漏れが発生。テーブルコンロの火をつけた際、漏れたガスに引火し接続具を焼損した。

●接続不可例



テーブルコンロを使用する際に、ホースガス栓に誤ってゴム管用ソケットをつなげたゴム管を接続していたため、ガス漏れが発生。テーブルコンロ使用中に、漏れたガスに引火し、接続具を焼損した。

●接続不可例



# ガス機器の設置について

古いガス機器を  
使っているけど大丈夫？



## より安全性の高い機器へのお取り替えをおすすめします

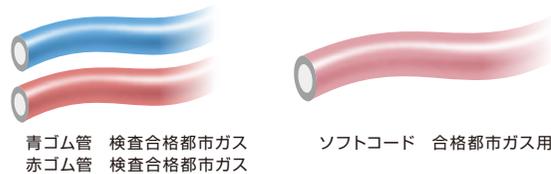
### センサーコンロ

現在製造されているコンロは、すべてのバーナーに、煮こぼれや点火ミスなどで火が消えたときにガスをストップする立ち消え安全装置、天ぷら油の温度が約250℃になると、ガスを止め火災を防止する調理油加熱防止装置、消し忘れ消火、早切れ防止機能など、安全便利機能を搭載しています。



### ソフトコード※2

赤・青ゴム管にかわり、耐久性が向上したソフトコードが販売されています。現在赤・青ゴム管を使用されている場合は、早急にソフトコードにお取り替えください。



※2. ソフトコードやガスコードでも外観に傷や溶けなどの異常が見られるときは、お取り替えください。  
※3. 絹巻ラセン管からガスコードにお取り替えされる場合は、別途接続用部品が必要となる場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

### 不完全燃焼防止装置付※1

●ファンヒーター  
フィルターの目詰まりなどで新鮮な空気が不足したら、異常を検知し自動的にガスを止めます。

●小型湯沸器  
ほこりによる熱交換器の目詰まりなどがあつたとき、炎の異常を検知し、自動的にガスを止めます。

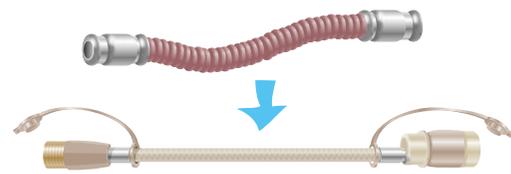


不完全燃焼防止装置付  
使用方法  
■(点火・出湯)(消火・出湯停止)  
●ファンヒーターをいはい押ししてください(バーナーに着火しお湯が出ます。(水)の位置では水が出ます。  
●再度ファンヒーターを押してください。  
お湯(水)が止まり消火します。

※1. 不完全燃焼防止装置付の機器でも、お使いになるときは必ず換気してください。

### ガスコード※2※3

絹巻ラセン管にかわり、耐久性が向上したガスコードが販売されています。現在、絹巻ラセン管を使用されている場合は、早急にガスコードにお取り替えください。



## 金網ストーブはファンヒーターへのお取り替えをおすすめします。

- 赤熱面(金網部分)に変形や、やぶれなどの異常がある場合は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となるおそれがあります。
- 不完全燃焼防止装置付のファンヒーターなどへお取り替えください。
- 暖房シーズン前に点検をおすすめします。



## 古くなったガス管は必ず交換

土の中に埋められている“白ガス管(亜鉛メッキ鋼管)”は、交換しましょう。

### ガス管の腐食状況(例)



### ポイント

●お取り替えをご検討いただきたいのは、**お客さまの所有物となる敷地内のガス管**です。お取替えは有料で行わせていただきます。●現在ガス管の材料として使用されているポリエチレン管や被覆鋼管は、腐食や地震に強く、地震対策としても有効です。●場所に合わせた、最適なお提案させていただきますので、一般ガス導管事業者までお問い合わせください。

### 「白ガス管とは？」

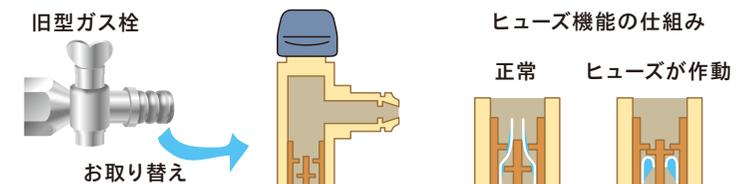
鋼管表面に亜鉛メッキを施したガス管をいいます。白ガス管は、強度・耐食性・施工性等を兼ね備えたガス管の材料として昭和20年代から一般的に使用されてきました。長年土の中に埋められた白ガス管は、土の性質や水分などの影響により徐々に腐食が進行し、ガス漏れが発生する場合があります。 ※土質や環境により腐食の度合いが異なります。

※改装や敷地内を掘る工事をされるときは一般ガス導管事業者へご連絡ください。安全に工事していただくために、アドバイスさせていただきます。\*連絡先については裏表紙をご覧ください。

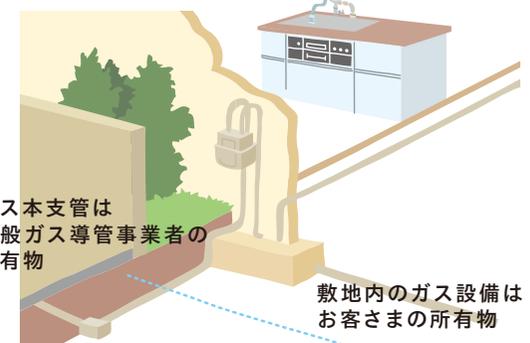
- (1)ガス工事は、当該一般ガス導管事業者へ申請いただき、当該一般ガス導管事業者が施工いたします。ただし、当該一般ガス導管事業者が託送約款等で定める一定の工事は、当該一般ガス導管事業者の承諾工事人に申請いただき、承諾工事人に施工させる事ができます。
- (2)当該一般ガス導管事業者はガス工事の申込みがあった場合には託送約款に規定する場合を除き、承諾する事とします。なおガス工事の申込みを承諾できない場合にはその理由を遅滞なくお知らせいたします。
- (3)お客さまのために設置されるガス遮断装置は、原則としてお客さまの所有とし、お客さまの負担で設置していただきます。
- (4)お客さまの申込みによりそのお客さまの為に設置される整圧器及び昇圧供給装置は、お客さまの負担で設置していただきます。
- (5)複数のお客さまからガス工事の申込みをいただいた事に伴い、本支管及び整圧器の新設・入替工事を行う場合において、同時に設計及び見積もりを行い工事が実施できる時には、協議の上1つの工事として取り扱う事があります。
- (6)ガスメーターは、当該一般ガス導管事業者所有のものを設置し、これに要する工事費はお客さまにご負担していただきます。
- (7)本支管および整圧器(4)の整圧器は除きます。)は、当該一般ガス導管事業者の所有とし、当該一般ガス導管事業者が託送約款等で定める負担額を超えるときは、その差額に消費税等相当額を加えたものを工事負担金としてお客さまにご負担していただきます。
- (8)お客さま所有の供給施設の修繕費はお客さまにご負担していただき、当該一般ガス導管事業者の供給施設の修繕費は、当該一般ガス導管事業者が負担することを原則といたします。

## 古いタイプのガス栓もお取り替えをおすすめします。

現在新しく取り付ける場合に使用されているヒューズガス栓は、万が一ゴム管がはずれたりした場合、自動的にガスを止める機能がついています。



ガスメーター※は一般ガス導管事業者の所有物です。(サブメーターを除く)



※ガスメーターは計量法に基づき、検定満期となる前に一般ガス導管事業者がお取り替えいたします。(10年または7年)

# もしもの時の対応について

大きな地震があったら  
どうすればいいの？



## 地震のときは、身の安全を最優先に

まずは身の安全を確保しましょう。

揺れがおさまったらガスの火を消してください。



まずは机の下に身を隠すなどをしてください。  
震度5相当以上の地震の場合は、ガスメーター  
(マイコンメーター)が自動的にガスをシャ断し  
ます。あわてず落ち着いて行動しましょう。

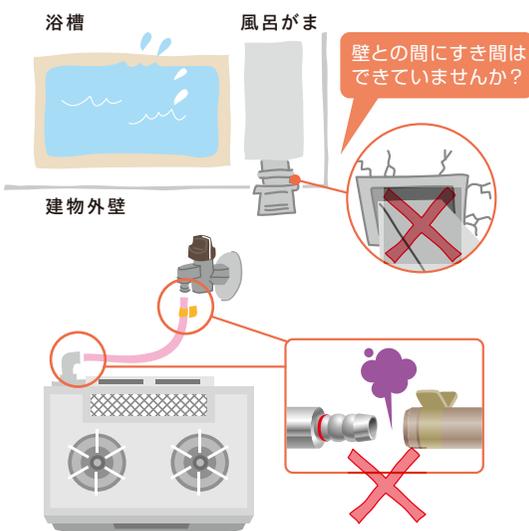
ガス機器を使用していた場合、ガス機器のスイッチを止めて、  
ガス栓を閉めてください。

## 地震のあと、ガスをふたたび使うときは

次のことを確認してください。

- ✓ ガス機器周囲でガスの臭いがしないか
- ✓ ガス機器本体に変形・破損など異常がないか
- ✓ 煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか  
(はすれ・凹み・穴あきがないか目視確認してください。)

- ✓ ガス接続具が正しく接続されているか  
(接続具に外れがないか目視確認してください。)



地震・台風・強風・大雨・大雪のあとは、  
排気筒(煙突)のはすれや、  
壊れないかどうか  
確認してください。

給気口がふさがって  
いませんか？

- 異常を確認した場合は、火災や一酸化炭素中毒など、事故のおそれがありますので、メーカーや販売店  
などへ点検・修理を依頼するとともに、一般ガス導管事業者へご連絡ください。
- ガス機器を使用している目がチカチカしたり、気分が悪くなったり、不快な臭いがした場合は、ただちに  
ガス機器の使用を中止し、修理の手配をしてください。



ガスが止まったら  
どうすればいいの？



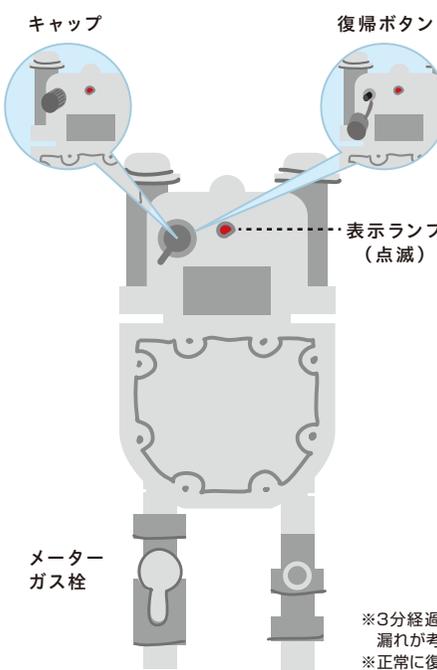
## ガスが出ないときは、ガスメーターを確認

ご家庭の全てのガス機器が使えない場合は、ガスメーターの表示ランプを確認してください。  
点滅している場合は、**周囲がガス臭くないことを確認**してから、復帰の手順を行ってください。  
万一ガス臭い場合は、復帰の手順を行わず、すぐに一般ガス導管事業者へ連絡してください。  
\*連絡先については裏表紙をご覧ください。

ガスメーターには、次のような場合に安全装置が働いて自動的にガスを止める機能があります。  
安全装置が働いた場合、表示ランプ(赤)が点滅します。

- 大きな地震(震度5相当以上)が発生した場合
- 多量にガスが漏れた場合
- ガスの圧力が所定の値より低くなった場合
- 機器を長時間使用した場合\* ※お湯の沸かしすぎや鍋がこげるのを防止するものではありません。

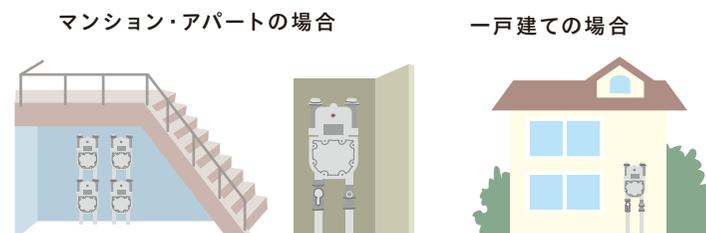
### 復帰の手順



- 1 器具栓を閉めるか、運転スイッチを切り、  
すべてのガス機器を止める。  
屋外の機器も忘れずに。  
使っていないガス栓は閉まっていることを確認してくだ  
さい。このときメーターガス栓は閉めないでください。
- 2 復帰ボタンのキャップを手で左に回し、  
キャップを外す。
- 3 復帰ボタンを奥までしっかり押して、  
表示ランプが点灯したら手を離す。  
復帰ボタンが元に戻り、表示ランプが再点滅します。  
その後、キャップを元に戻しておきます。
- 4 約3分間お待ちください。  
この間ガス漏れがないか確認していますので、ガスを使  
わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターを  
ご確認いただき、表示ランプの点滅が消えていれば、  
ガスが使えます。

※3分経過後も、ガスが止まったままで表示ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガス  
漏れが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。  
※正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合は一般ガス導管事業者へ連絡してください。

### ふだんからガスメーターの 位置を確認してください



ガス臭いときは  
どうすればいいの？



## ガス臭い場合はすぐに連絡！

ガス警報器が作動したり、ガス臭いと感じたときは **すぐに一般ガス導管事業者へご連絡ください。**

屋外で...



共有部で...



お部屋の中で...



### ガス臭いと感じたときの手順

●火気は絶対使用しないでください。

**火気厳禁**



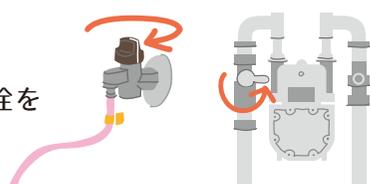
●着火源となる換気扇、電灯などの  
スイッチに絶対手を触れないでください。



窓や戸を  
大きく  
開けましょう



ガス栓や  
メーターガス栓を  
閉めましょう



## すぐに一般ガス導管事業者へご連絡ください！

- お名前
- ご住所
- ご近所の目標
- その場の状況



もしものために暮らしを見張ります  
**一般ガス導管事業者の主な保安体制**

**365日・24時間保安体制...**  
ガス漏れ、ガス事故などの緊急時に備えて、  
係員と緊急車が常時待機しています。

**保安点検...**  
法令に基づき定期的にお客さま宅にお伺いし、  
ガス漏れ点検や給排気設備の調査を行っています。

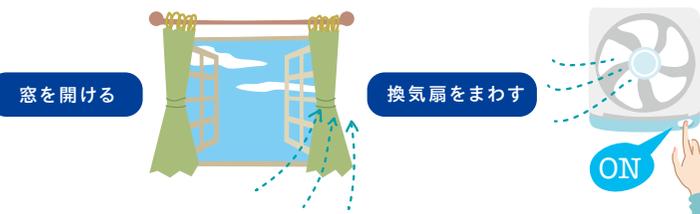
\*連絡先については裏表紙をご覧ください。

## 不完全燃焼防止装置のない小型湯沸器\*

※昭和64年1月1日より不完全燃焼防止装置の装着が法律で義務付けられています。

### 換気をしっかり。一酸化炭素中毒に注意！

換気忘れや換気不足、  
ホコリ詰まりによる不完全燃焼で  
一酸化炭素中毒をおこし、  
重症の場合は死亡事故に  
つながるおそれがあります。



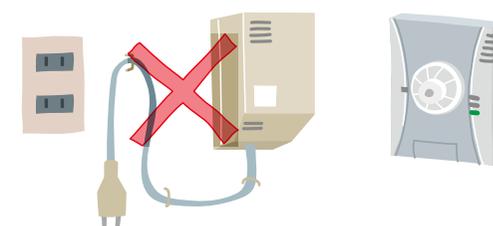
### 長時間の連続使用はおやめください

小型湯沸器の長時間使用は、  
不完全燃焼を起こし、  
一酸化炭素(CO)中毒の  
原因となり、大変危険です。  
絶対におやめください。

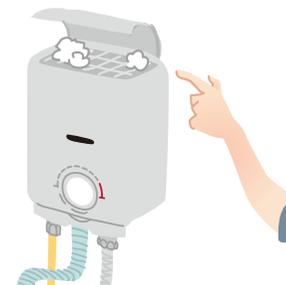


## ガス・CO警報機を正しく設置

- 警報器のコンセントは絶対に抜かないでください。  
警報器は電源がないと作動しません。  
コンセントに入れている状態が監視状態です。
- 交換時期にご注意ください。  
警報器には有効期限があります。  
有効期限が過ぎる前にお取り替えが必要です。



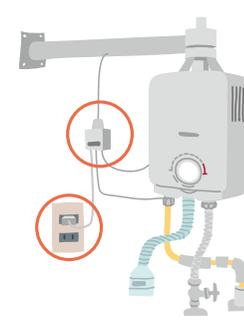
## ときどき点検してください



上部に汚れや詰まりはないかときどき点検して  
ください。熱交換器に目詰まりがあると、  
不完全燃焼の原因となり危険です。

## 『排気ファン付きの機器』 をご使用のお客さまへ

排気ファンの付いている  
小型湯沸器をご使用の  
際は、必ず**排気ファンが  
回っていること**を確認し  
てください。特に電源コン  
セント、コントロール  
ボックスの結線は安全装  
置が働かないおそれあり  
ますので、絶対に抜か  
ないようにしてください。



# 古いガス機器をお使いの皆さまへ

不完全燃焼防止装置のない

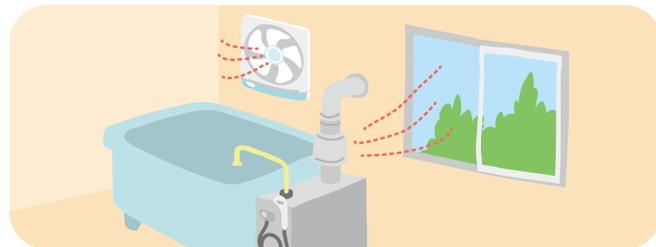
「浴室に設置されている煙突式風呂がま」

「煙突式風呂がま・湯沸器」

「排気ファンがついている煙突式風呂がま・湯沸器」

## 換気をしっかり。一酸化炭素中毒に注意！

換気忘れや換気不足、ホコリ詰まりによる不完全燃焼で一酸化炭素中毒をおこし、重症の場合は死亡事故につながるおそれがあります。



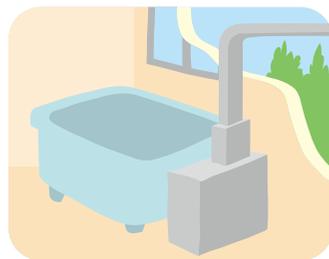
## 安全型機器にお取り替えをおすすめします！

屋外設置式



機器を屋外に設置、煙突などの給排気設備は必要なく、最も安全な機器です。

密閉式



ファン力で空気を屋外から取り入れ、排気も強制的に屋外へ排出します。

不完全燃焼防止付きの機器

不完全燃焼防止装置付

使用方法

- (点火・出湯)(消火・出湯停止)
- プッシュボタンをいっぱい押ししてください(バーナーに着火しお湯が出ます。(水)の位置では水が出ます。)
- 再度プッシュボタンを押ししてください。お湯(水)が止まり消火します。

換気不足やホコリ詰まりによる不完全燃焼を感知し、ガスを自動的にストップします。

## ガス・CO警報器の設置をおすすめします

万一ガス漏れや不完全燃焼による一酸化炭素が発生した場合、ランスと警報音でお知らせする「ガス・CO警報器」。24時間、ガス漏れやCO発生を監視する暮らしの見張り番です。また、火災が発生したときに、お知らせする機能のついた警報器もあります。有効期限が過ぎる前に、お取り替えが必要です。



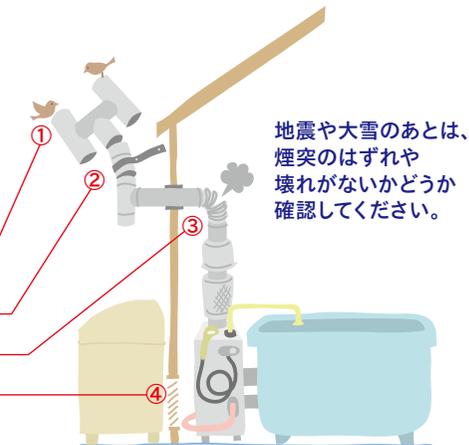
## ガス機器の改善は、資格のある専門家へ依頼してください

屋内にあるガス風呂がまや湯沸器などは法令により適正な給排気設備の設置が義務付けられています。給排気設備に不備があると一酸化炭素中毒を起こすおそれがあり、大変危険です。ガス風呂がまや湯沸器を屋内に設置するには、国で定められた資格(ガス消費機器設置工事監督者)が必要です。※ガス機器の故障の際はメーカーまたは販売店などにお問い合わせください。

「浴室に設置されている煙突式風呂がま」「煙突式風呂がま・湯沸器」をお使いの皆さまへ

煙突や給気口などをときどき点検してください。

- ①鳥の巣などの異物で詰まっていませんか
- ②固定金具がなかつたり、グラついていませんか?
- ③穴あき、はずれがありませんか?
- ④給気口や換気口がふさがっていませんか?

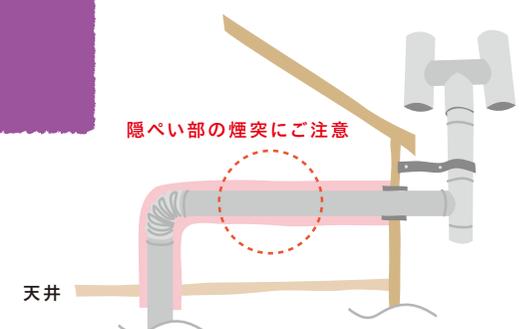


地震や大雪のあとは、煙突のはずれや壊れがないかどうか確認してください。

しっかり点検。天井裏などの隠ぺい部分にある煙突で事故が起っています。

- 煙突はずれ
- 断熱材のシミや穴あきなどを点検してください
- 点検口がない場合は設置をお願いします

異常を見つけた場合は、使用をやめて専門修理業者に連絡ください。



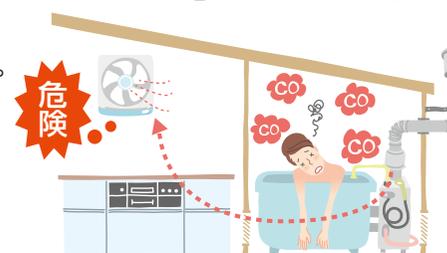
使用中にイヤな臭いがしませんか?

使用中にイヤな臭いや目がチカチカする場合は、排気ガスがあふれている可能性があります。ただちに使用を中止し、ガス機器購入店または修理店にご連絡ください。

「浴室に設置されている煙突式風呂がま」をお使いの皆さまへ

お風呂を沸かしているとき、換気扇を回さないでください。

お風呂を沸かしているときやシャワーを使っているときに、台所や浴室内の換気扇を使用すると、風呂がまの排気が浴室内に逆流し一酸化炭素(CO)中毒を起こす場合があります。

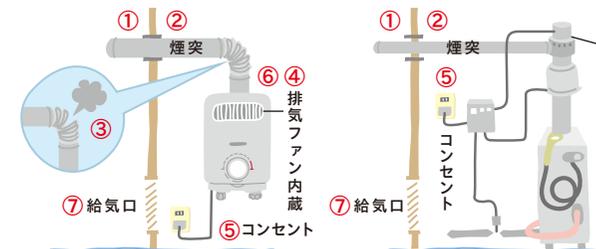


「排気ファンがついている煙突式風呂がま・湯沸器」をお使いの皆さまへ

煙突・排気ファンなどの「給排気設備」をときどき点検してください

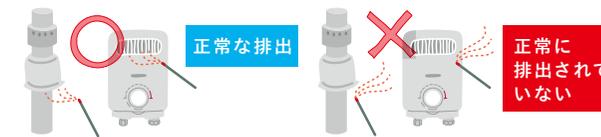
煙突や給気口などをときどき点検してください。

- ①鳥の巣などの異物で詰まっていませんか
- ②固定金具がなかつたり、グラついていませんか?
- ③穴あき、はずれがありませんか?
- ④ご使用時にファンが回転していますか。
- ⑤電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。
- ⑥機器の給気口にホコリが詰まっていませんか?
- ⑦給気口がふさがっていませんか?



排気は正しく行われていますか?

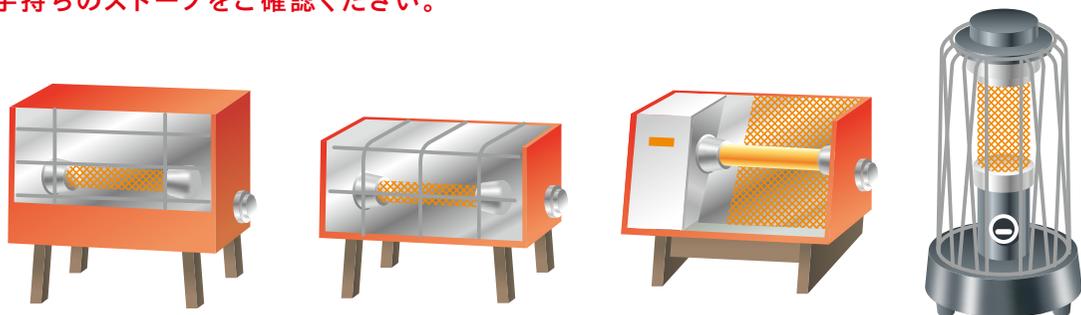
※ご使用中、線香などの煙で確認してください。地震や大雪のあとは、煙突のはずれや壊れがないかどうか確認してください。



ガスの安全な使い方  
ガス機器の点検  
ガス機器の設置  
もしもの時の対応  
古いガス機器をお使いの皆さまへ  
業務用にガスを  
お使いの皆さまへ  
よくあるご質問

## 金網ストーブ

お手持ちのストーブをご確認ください。



**古い金網ストーブは、不完全燃焼により一酸化炭素(CO)中毒をおこす危険があります**

不完全燃焼

金網部分の変形やほこりなどによる詰まりなどは不完全燃焼につながります。また、外観はきれいに見えても金網の変形や内部のほこり詰まりで不完全燃焼をおこします。おかしいと思ったらご連絡を。



換気

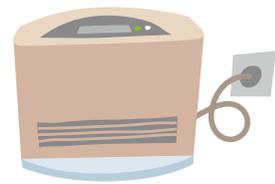
ストーブを使用する場合は30分に1回が換気の目安です。開放できない窓の部屋には、給排気口を設けるか、換気扇があれば、回してください。

30分に1回の換気!

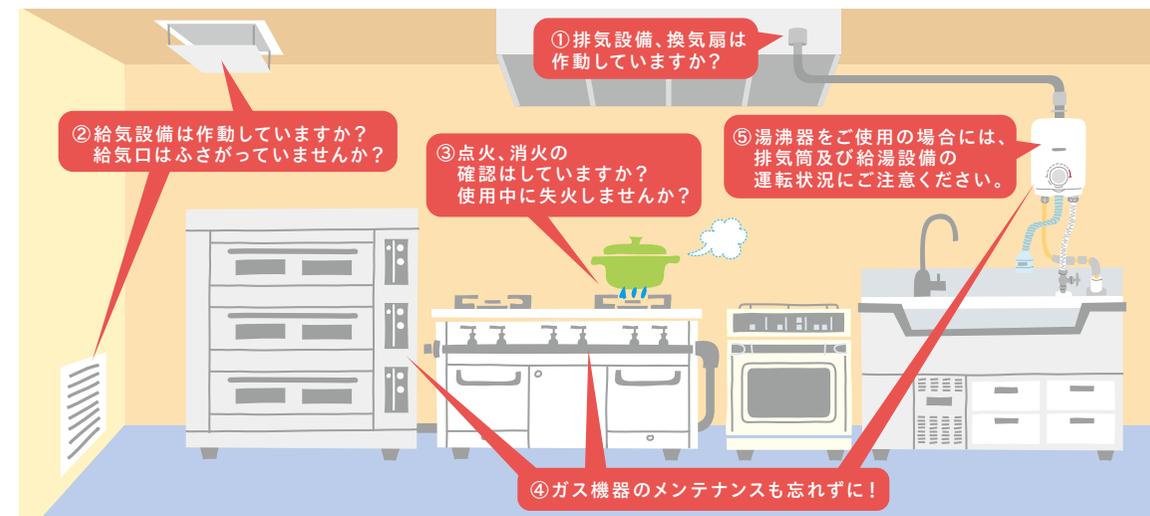


安心機能

不完全燃焼防止装置のついたガスファンヒーターなら安心。ファンヒーターは異常を感じてガスを自動的にストップします。また、機器が転倒したときもガスを自動的にストップします。お年寄り、お子さまのいる家庭でも安心してご使用になれます。



## 従業員のみなさまでご確認ください



- 換気を行わないと排ガスが充満し空気が不足します。ガス機器が不完全燃焼を起こして一酸化炭素中毒の原因になります。(冷暖房中も忘れずに!)
- ガス機器が燃焼するには新鮮な空気(酸素)が必要です。空気(酸素)が不足すると一酸化炭素(CO)が発生します。また、密閉された厨房等の場合は給気設備の故障により給排気バランスがくずれ、排気設備が作動していても排ガスが排出されない場合があります。
- 点火、消火の確認は確実に目視で行ってください。また、使用中も煮こぼれなどによる立ち消えにご注意ください。
- ガス機器は取扱説明書をよく読み正しく使しましょう。また、厨房内は油の蒸気等の影響もあります。ガス機器使用中に一酸化炭素(CO)が発生してくる恐れがありますので、ガス機器のメンテナンスは定期的に行うと安全です。
- 排ガスを排気筒で屋外に排出するタイプの湯沸器のフード受け設置の場合は、特に給排気設備を確実に運転するようにご注意ください。また、排気筒への防火ダンパーの設置は禁止されています。

## 危険を感じたときは

- お客さまを直ぐに安全な場所に誘導してください。
- あわてずに!あせらずに!身の安全を確保したうえで迅速に使用中のガス機器を止め、ガス栓を閉めてください。
- ガス漏れに気づいたら、管理人や「ガス漏れ時の緊急連絡先」および消防署へご連絡ください。

- 伝熱火災にご用心  
壁との離隔距離は十分お取りください。壁の表面がステンレスやタイル貼りでも、下地が木材の場合は、伝熱火災を起こすことがあります。
  - 排気ダクトを使用される場合のご注意  
ガス機器は、排気ファンが稼働している時間内でご使用ください。共用機械排気を行っている建物では特に注意が必要です。ガス機器の排気が十分に行われないと、不完全燃焼を起こし、排気ガスが室内にあふれて一酸化炭素中毒を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
  - ダクト火災にご用心  
ふだんから、フード内の清掃をお願いします。ダクト内や換気扇の油滴やホコリは、ダクト火災の原因になります。
  - ガス管のチェック、スノコの下も忘れずに  
ガス管が腐食していないかときどき点検をお願いします。ガス管は調理の際の水分や塩分・酸が付着して腐食しやすくなります。スノコを敷いている場合は、ときどきスノコを上げて、ガス管を点検してください。
- ポイント**
- 閉店または退社されるときは、ガス機器が完全に止まっていることをご確認ください。
  - 使用していないガス栓には、必ずガス栓キャップを取り付けてください。
  - 日頃から、ガス栓や接続具のある場所をご確認ください。
- 理・美容院等の特殊な薬品を使用する場合の注意点**  
ガス機器の本体や排気筒の腐食がおこりやすいため、密閉式または屋外式のガス機器をおすすめします。

## 業務用換気警報器を設置されたお客さまへ



- 業務用換気警報器は、一酸化炭素(CO)の発生を予防するものではありません。厨房内の環境を監視し、換気を促す警報器です。
- ガス漏れ警報機能はありません。業務用換気警報器を設置した場合でも、一般のガス警報器をご使用の場合はそのままご使用ください。
- 警報器には有効期限があります。有効期限が過ぎる前にお取り替えが必要です。
- 警報器の設置場所は、適切な監視を行うため正しい位置に設置される必要があります。

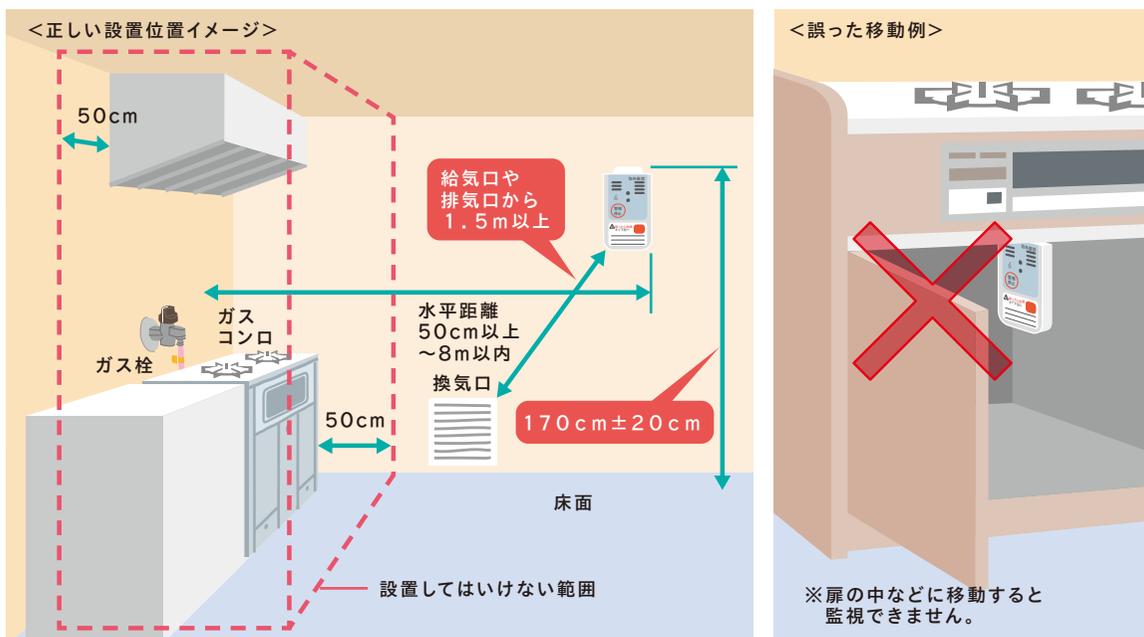
### 設置場所

- ・ガス機器を設置してある部屋と同一室内
- ・ガス機器からの水平距離が50cm以上8m以内の位置(最も遠いバーナから8m以内)
- ・床からの高さが170cm±20cm以内

### 設置してはいけない場所

- ・ガス機器の排気、湯気、油煙及び調理のアルコール蒸気等が直接かかる場所
- ・ガス機器等の使用中に周囲温度が0℃以下又は50℃以上になるおそれのある場所
- ・水しぶきがかかる場所
- ・給気口、換気口、エアコン等の吹き出し口から1.5m以内の場所
- ・レンジフードから50cm以内の場所

※設置場所の移動や撤去は絶対にお止めください。



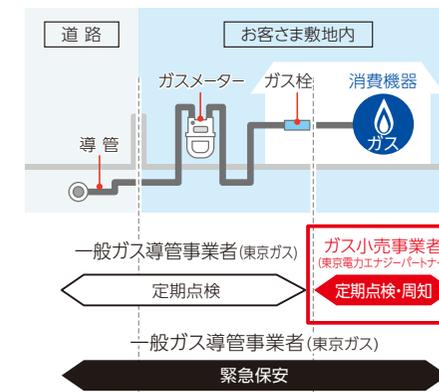
**発報した時は** ●一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。下記の処置とあわせて、一般ガス導管事業者までご連絡ください。

- ガス機器の使用を中止
- 換気扇などの換気装置が動いていることの確認
- ドアや窓を開けて換気
- メーカーや販売店等に機器の点検・修理の依頼

## Q1 ガスの自由化で何が変わったの？

A ガス自由化で、ガス設備に関する保安の範囲が変更になりました。(右図参照)お客さま敷地内のガス設備の点検や、ガス漏れなどの緊急時対応は、引き続き各地域の一般ガス導管事業者が実施します。(東京電力エナジーパートナーは連携・協力を行います)ガス機器などの定期点検(消費機器調査)は、ガス小売事業者(東京電力エナジーパートナー)が実施します。

自由化後の保安の範囲



## Q2 ガス臭いときはどうすればいいの？

A 一般ガス導管事業者がお伺いしますので、本パンフレット裏表紙に記載の「ガス漏れ通報専用電話」までご連絡ください。ガス臭いと感じたときは、火気は使用せず、窓や戸を開けて換気すると共に、ガス栓やメーターガス栓を閉めてください。なお、換気扇や電灯などのスイッチは着火源となりますので、手を触れないでください。



## Q3 ガスの定期点検(消費機器調査)は誰が来ますか？

A 法令で定められている消費機器調査(1回/4年)は、東京電力エナジーパートナーと業務提携している消費機器調査員がお伺いします。(お客さまから調査費用をいただくことはありません)調査に向う前に、調査予定日を記載したハガキをお送りいたしますのでご確認ください。

お知らせハガキイメージ

